

海況速報

平成6年度 第6号(通算 No.42)
平成7年3月9日
北海道立水産試験場

海洋部の電話番号が直通になりました。
内容についての問い合わせは

中央水試海洋部 0135-23-4020

2月上旬～下旬の海況

【日本海海域】

天売島西方には、武蔵堆南西部に接するように暖水渦(中心:200m層水温4℃以上)があります。この暖水渦の東側には南北に長い冷水域があり、北緯45度30分から南は積丹半島近くまで延びているようです。また、北緯43度以南では、前回(12月)の観測時と同様に対馬暖流の幅が広がっています。

道南の桧山沿岸の100m層に水温4℃以下を示す冷水域があります。これは、観測の前日まで続いていた強い北よりの季節風によって引き起こされた、下層冷水がわきあがる沿岸湧昇という現象をとらえたものと考えています。さらに、この冷水域は津軽海峡まで続いているようです。また、津軽海峡の西方には、200m層水温が9℃以上の暖水渦があるようです。

道北・道央海域の水温は、全体的に累年平均(*1)より0～2℃低くなっています。

道南海域の水温について見ると、北緯42度30分線上では、累年平均より0～2℃高くなっていますが、北緯41度30分線上では、累年平均と比べて-3～+2℃となっていて、ほかの海域より水温差がやや大きくなっているようです。

余市における沿岸水温(旬平均)は、12月下旬以降、平年値に比べ-0.3～+0.8℃の範囲にあり、平年並みに推移しています。

【道東太平洋海域】

前回(12月)襟裳岬南東方にあった暖水塊は観測海域外に移動し、道東沖合いは広く親潮に覆われ、各層とも水温3℃以下の面積が広がっています。また、親潮の沖合いには暖水域(表面水温3℃以上)があります。

道東沿岸の表層・50m層には、1℃以下の特に水温の低い沿岸親潮(*2)が根室半島から襟裳岬まで流れています。

水温について見ても、各層とも累年平均に比べ0～-1℃のところが多く、道東太平洋海域は全体的にごく平均的な海況にあります。

【道南太平洋海域】

今期は東経141度20分線の観測だけとなりました。

道東太平洋海域では沿岸親潮がすでに襟裳岬まで達していますが、道南太平洋海域にはまだ本格的に達していないようです。しかし、白老沿岸部の表層・50m層と恵山岬表層には沿岸親潮の影響(水温5℃以下)が見られます。

水温について見ると、沿岸親潮の噴火湾湾口部海域への到達時期がやや遅れているために、恵山岬以北の海域では累年平均に比べ+1~+4℃と少し高くなっています。また、津軽海峡東口では累年平均並みのようです。

【オホーツク海海域】

海水期のため観測がありません。

資 料 〔観測期間〕

青森水試 (東奥丸)	平成7年2月23日~同2月24日 (東北日本海海域)
稚内・網走水試 (北洋丸)	平成7年2月2日~同2月4日 (道北日本海海域)
釧路水試 (北辰丸)	平成7年2月13日~同2月16日 (道東太平洋海域)
函館水試 (金星丸)	平成7年2月23日~同2月23日 (道南太平洋海域)
中央水試 (おやしお丸)	平成7年2月3日~同2月6日 (道央日本海海域)

*1: 平成2(1990)年~平成6(1994)年までの平均値を使用しました。

*2: オホーツク海の流氷の融氷水を含む親潮として特に沿岸親潮という名前が付けられています。

(中央水試 海洋部)

Hokkaido Fisheries Experiment Station

調査期間：1995年2月2日～2月24日

単位：℃

海水域

表面水温

45 N

43 N

41 N

137 E

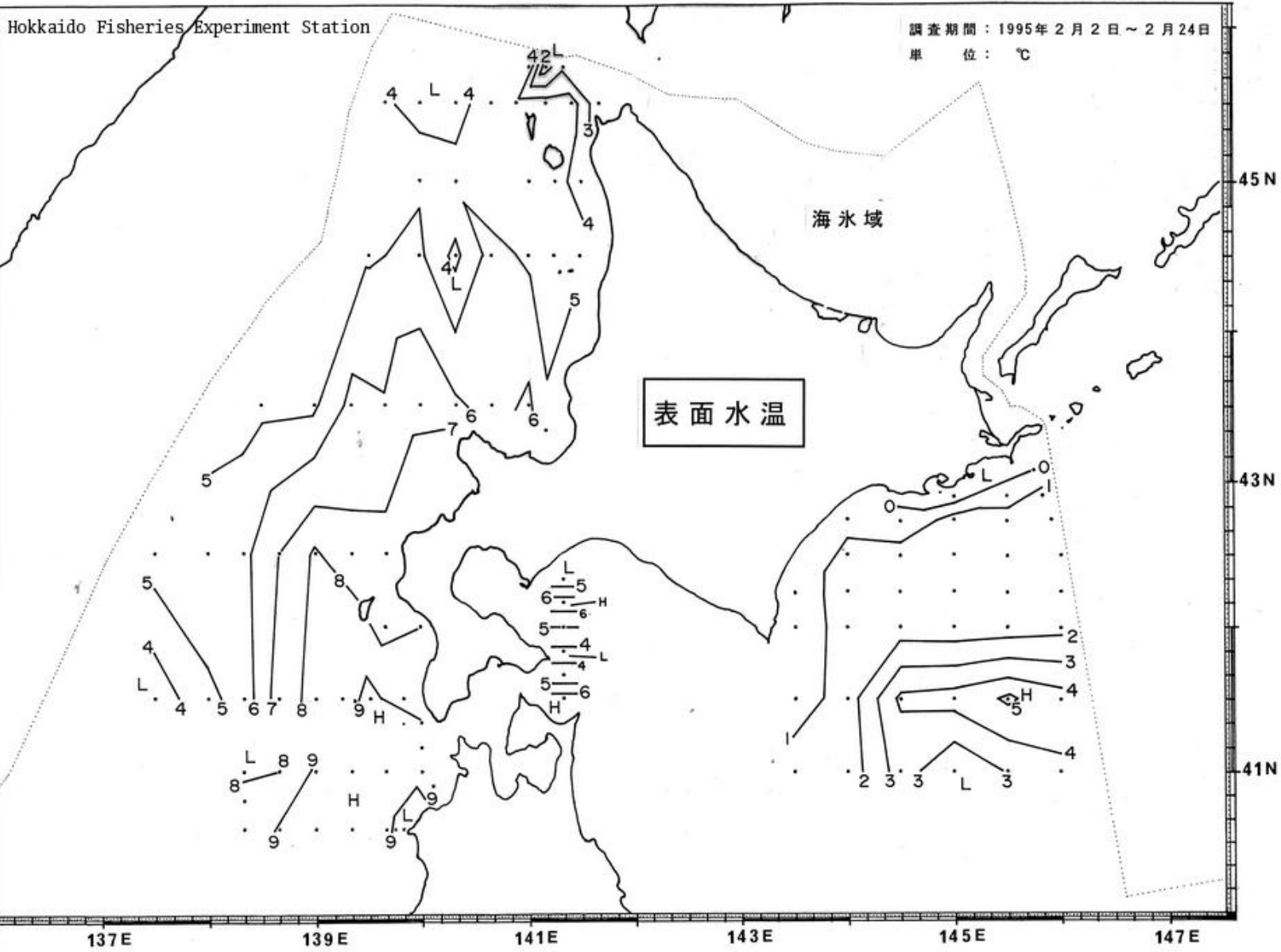
139 E

141 E

143 E

145 E

147 E



Hokkaido Fisheries Experiment Station

調査期間：1995年2月2日～2月24日

単位：℃

50 m層水温

137E

139E

141E

143E

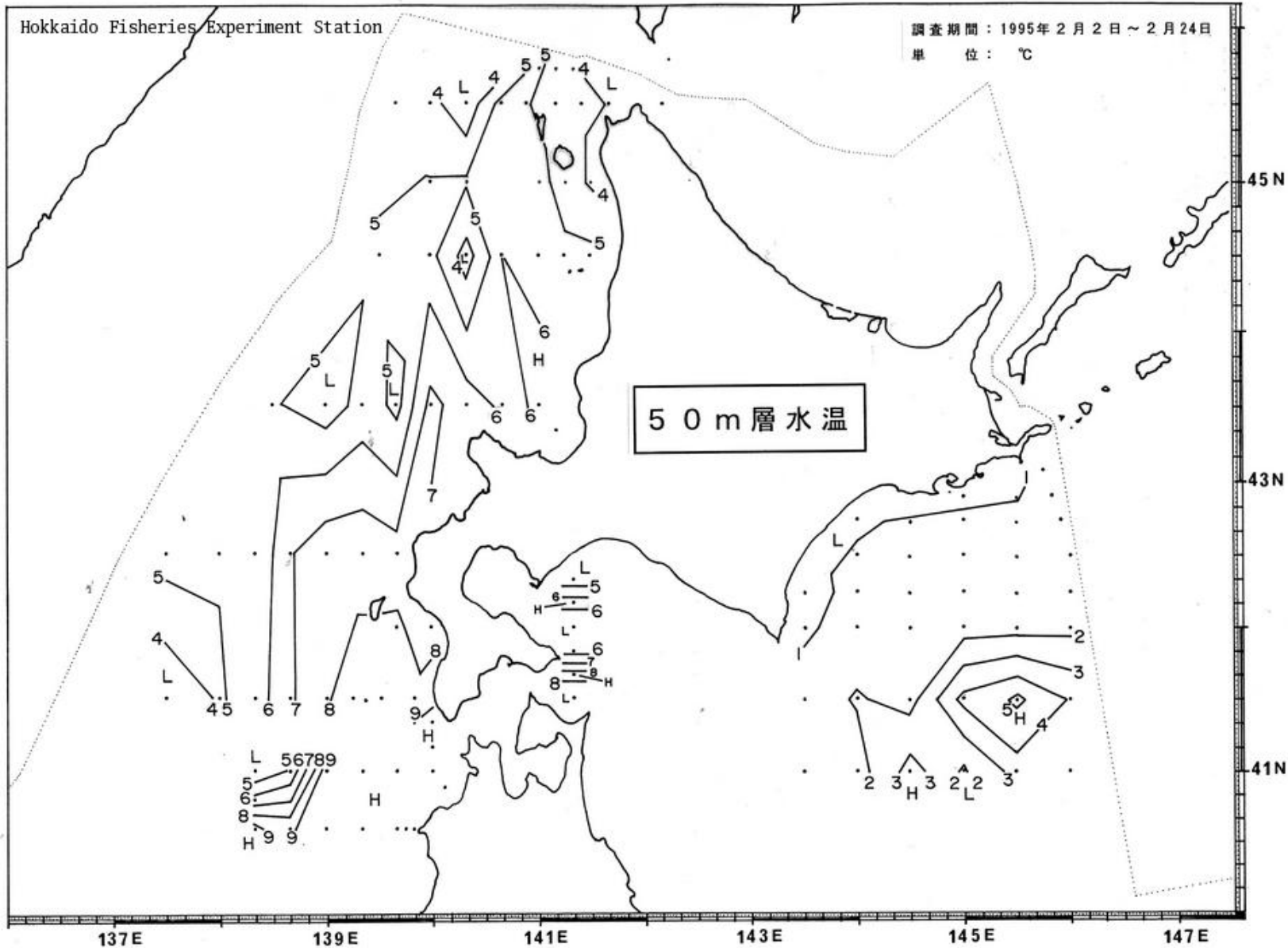
145E

147E

45N

43N

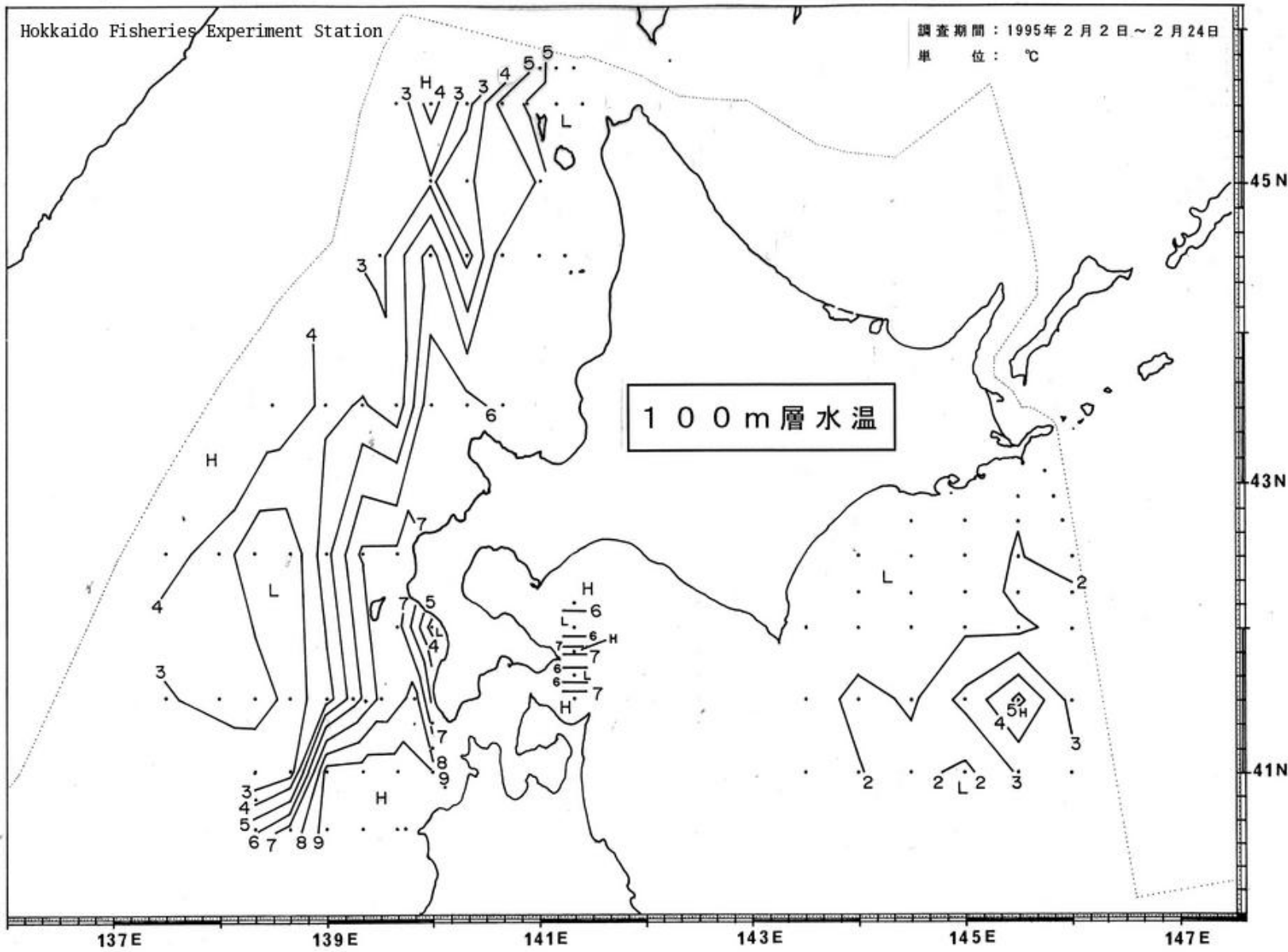
41N



Hokkaido Fisheries Experiment Station

調査期間：1995年2月2日～2月24日
単位：℃

100m層水温



Hokkaido Fisheries Experiment Station

調査期間：1995年2月2日～2月24日

単位：℃

200m層水温

